

9月10日

NowJapan Festival

訪問先都市	ヴィリニユス
訪問概要	今年で8回目を迎えるこのイベントは、バルト3国の中でも最大級の日本文化を紹介する祭りとして知られている。参加者は毎年増え続け、今年は5,000人以上が集まった。日本語を流暢に話す人が多いことにとても驚き、遠く離れたこの国でこれほど日本に興味を持っている人たちがいることに深い感銘を受けた。

9月11日

リトアニア大公宮殿 (Palace of the Grand Dukes of Lithuania)

訪問先都市	ヴィリニユス
訪問概要	15世紀に建てられ、ルネッサンス様式とバロック様式の特徴を兼ね備えた宮殿。リトアニア独立回復後の象徴として2013年に博物館として公開された。ここではリトアニアという国の誕生から今日に至るまでの歴史について、とりわけ14世紀のリトアニア大公国が隆盛を極めていた時代についての詳細な説明を受けた。最後に、博物館の最上階に足を運び、ヴィリニユス旧市街の景色を眺めた。

9月12日

リトアニア共和国議会 (セイマス) (the Parliament of the Republic of Lithuania (the Seimas))

訪問先都市	ヴィリニユス
面会者	H.E. Ms. Loreta Grauzinienė, Speaker of the Seimas of the Republic of Lithuania Mr. Benjaminas Petraitis, Chief Specialist of the Protocol Division International Relations Unit
訪問概要	1991年のソ連からの独立に際し、数万人の市民が非武装で死守した歴史的建物の一つ。国会議長への表敬訪問では、杉原千畝氏の功績が注目を浴びていることなどに言及し、2国間の長きにわたる歴史を再認識するとともに、派遣青年が両国の懸け橋となることを誓った。議事堂見学では、「バルトの道」などソ連からの独立時の様子や、リトアニアの政治事情についての話を聞いた。

市民教育センター (The Centre for Civil Education)

訪問先都市	ヴィリニユス
訪問概要	リトアニア人への市民教育を担う施設。図表が豊富で、付随する説明が簡潔である点は日本の博物館とは対照的である。また、タブレットを用いた説明など、内容理解を促進する様々な工夫がなされており、リトアニアにおける市民教育の重要性を実感できた。

在リトアニア日本国大使館 (Embassy of Japan in Lithuania)

訪問先都市	ヴィリニユス
面会者	重枝豊英 在リトアニア日本国大使館 特命全権大使 小谷朋恵 在リトアニア日本国大使館 二等書記官 森本麻友美 在リトアニア日本国大使館 派遣員
訪問概要	大使から日本とリトアニアの結びつきについてのお話を伺った。今後ますますリトアニアが欧州内で存在感を増していくことが予想される中で、日本から積極的にアプローチしていくことの重要性に関する話は非常に興味深かった。

社会安全労働省青年局 (The Department of Youth Affairs under the Ministry of Social Security and Labor)

訪問先都市	ヴィリニュス
面会者	Mr. Vydūnas Trapinskas, Director of the Department of Youth Affairs Mr. Juozas Meldžiukas, Deputy Director of the Department of Youth Affairs Ms. Milda Petkeviciute, Head of Information Analysis and International Relations Division Ms. Valda Karnickaite, Head of Youth Policy Development and Program Implementation Division
訪問概要	国内外にかかわらず、青少年活動を促進するのが青年局の役割である。リトアニアの青年にまつわる様々な状況について、クイズ形式で青年局の職員に話を聞き、青年局の果たす役割について理解を深めた。

9月13日

クライペダ市役所 (Klaipėda City Municipality)

訪問先都市	クライペダ
面会者	Mr. Vytautas Grubliauskas, Mayor of Klaipėda City Municipality Ms. Jurgita Cinauskaite, Youth Affairs Coordinator
訪問概要	市長・団長の挨拶、同席されたユース・コーディネーターの方々からの活動紹介の後、記念品の交換・写真撮影を行った。元音楽家の市長の意向により文化活動に力を入れていると聞き、市長御自身の意思が地方行政に反映されるシステムであることが分かり、関心を持った。

クライペダ・ウッド社 (Klaipėda Wood - Wood Industry Group)

訪問先都市	クライペダ
面会者	Mr. Algirdas Miliunas, Deputy director of "Klaipėda Wood"
訪問概要	企業の歴史、概要などのプレゼンテーションを受けた後、工場見学で製造工程についての説明を受けた。日本の会社で行われている「無駄をなくす」取組が、この会社でも取り入れられており、日本から遠く離れたリトアニアで日本企業が手本となっていることに誇りを感じた。

クライペダ市立図書館 (Klaipėda County I. Simonaityte Public Library)

訪問先都市	クライペダ
訪問概要	市の図書館を視察した後、図書館の特徴について説明を受けた。日本青年は日本文化紹介を行った。子どもからお年寄りまで幅広い年代と触れ合う機会となり、人との距離の取り方などリトアニア人と日本人との国民性に共通点を見出せた。

9月14日

ネリंगा市役所 (Neringa Municipality)

訪問先都市	ネリंगा
面会者	Mr. Dovydas Mikelis, Deputy Mayor of Neringa Municipality Ms. Žydrūne Chlebavičiūtė, Youth Affairs Coordinator
訪問概要	議会にてネリंगा市副市長と面会させていただいた。副市長からネリंगा市、ニダの自然、歴史についての話を伺った。また、現地青年と若者の都市への流出問題や、若者の社会参加を促進する活動について、両国の現状を共有しながら意見交換を行った。

クルシュー砂州 (Curonian Spit)

訪問先都市	ニダ
訪問概要	全長98km、最大幅4kmに及ぶこの砂州は、2000年にユネスコ世界文化遺産に登録された。風や波の脅威に絶えずさらされているにもかかわらず、今日まで残っているのは森林再生などにより、浸食から守り続けた人間の努力に他ならない。砂丘からはロシアの飛地を眺めることができた。

9月15日

SCクライペダス・ナフタ (クライペダ石油) (SC Klaipėdos Nafta (Klaipėda Oil))

訪問先都市	クライペダ
面会者	Ms. Indre Miliniene, Head of Public Relations
訪問概要	リトアニアは1991年にソ連から独立を果たした一方で、石油や天然ガスの輸入を100%ロシアに依存しており、エネルギー面では依然としてロシアの支配下にあった。しかし、2015年に液化天然ガスの設備を導入した結果、世界各地から市場の適正価格でエネルギー源を確保できるようになった。これはロシア依存からの脱却を図る大きな一歩であり、非常に重要な意味を持っている。他には、EUの環境基準導入やLNGの作業工程（パイプラインなど）についての説明も聞いた。

9月16日

テルシャイ市役所 (Telšiai Municipality)

訪問先都市	テルシャイ
面会者	Mr. Kestutis Gusarovas, Deputy Mayor of Telšiai Municipality Mr. Saulius Urbonas, Administration Director of Telšiai Municipality
訪問概要	現地高校生と日リトアニア間の姉妹都市提携について議論を交わした。小グループでのディスカッションでは、気候、人口規模、街の特徴などの観点から、テルシャイと姉妹都市提携を結ぶのに適した日本の都市を探した。姉妹都市間の交流をいかに活発化するかというところまで議論が及んだグループもあった。団長とテルシャイ市副市長との間で協定書を交換した。

十字架の丘 (Hill of Crosses)

訪問先都市	シャウレイ
訪問概要	丘を埋め尽くすほど大小無数の十字架は、見る者を圧倒するほどである。1831年の帝政ロシアに対する11月蜂起に関わった反乱軍の家族が彼らの遺体の代わりに十字架を立てたのが最初とされており、その後もソビエト統治下に処刑された人々を弔うために十字架が立てられ続けていると言われている。現在でも平和を願うなど、様々な想いを持つ人々が世界中からこの地を訪れ、十字架を立てる人が後を絶たない。今年度のリトアニア団も訪問記念として十字架を1本立てた。

9月19日

カウナス工科大学 (Kaunas University of Technology - National Innovation and Business Centre "Santaka Valley")

訪問先都市	カウナス
面会者	Ms. Neringa Narbutienė, Vice-Rector for International Relations and Development Dr. Jurgita Vizgirdaitė, Director for Study Quality Assurance and Development Prof. Monika Petraité, Head of Department of Strategic Management, KTU School of Economics and Business Mr. Donatas Smailys, Head of KTU Startup Space
訪問概要	副学長を始め、各部門の責任者の方々による基調講演を聴き、産学共同研究の分野で功績を残していることを知った。講義の中で「新しい自動車を作るとしたら、どのような装備を備えた自動車がよいか」というテーマについて皆で議論した。その後、センター内を見学し、新しい技術やデザインを追求する作品の数々に、技術への関心の高さを感じた。